新風とよあけ
とみなが秀一
政策研究会だより

予算の立て方　入札方法に改革を

12月議会で、小学校の図書室への空調設置に一カ所あたり何百万円も掛けている驚きの事実が判明したため、3月議会の一般質問で、予算の立て方や入札方法を改革する必要性について質しました。

昨年の12月議会に、唐竹小の図書室に空調設備を設置する設計の補正予算が出され、調べたところ、様々な疑問が残ったため、3月議会の一般質問で取り上げました。

Webで百サイトぐらい調べると、学校図書室程度の部屋に空調を付ける場合、相場としては、安ければ数十万円で、工事も早ければ数日で完了するようでした。

そうした工事になぜ54万円もかけて設計をするのかと思い、最近つけた大宮小に行くと、巨大なガスヒーポンがついていました。たった一部屋の空調に、巨大なガスヒーポンを付けることになった経緯を聞きました。

（答弁）教育部長「その前に12月議会で大宮小の空調工事が800万円というお答えをしたがそれは概算で、入札して620万円ぐらいであった。設計者は建築設備設計支援システムを使って設計した」

それにしても高いです。プログラムに正確な数字を入れるため、現場は確認されたのでしょうか。

（答弁）教育部長「現場も確認したと聞いている」

すると、試算の数字と予定価格との差がかなり大きいのが不思議です。室外機もガスヒーポンは高さ2m30cmぐらい、重量は500kg以上。電気なら高さ1m40cmぐらい、100kgちょっととかなり違うのに、試算では設備工事費が120万円と同額なのはなぜですか。

（答弁）教育部長「詳細は承知していない」

巨大なガスヒーポン室外機

試算では電気式で総額422万2千円となっていますが、数十万円から受変電設備を補強したとしても200万円程度で設置できると思われます。

電気代は夏40日、冬60日で1日7時間稼働、インバーター式なので平均して定格の3分の1ぐらいで運転するとして、新電力の単価で計算すると、11万7千円ぐらい。

これが試算では19万1千円となっていました。かなり過大だと思います。

こうした数字を基に、設置費用はガスヒーポンの方が少し高いものの、ランニングコストで逆転するとしてガスヒーポンにしたわけですが、実際には電気の方が良かったと思われます。今後も、設計して出てきたものは、正しいという前提で選ばれるんでしょうか。

（答弁）教育部長「電気技師を1人、市で採用したので関与してもらい、しっかり精査したい」

結局3校1944万円で入札にかけたわけですが、1140万円で入札した企業は最低制限価格以下で、1485万円の業者が落札しています。改めて以前も提案した低入札価格調査制度、一定金額以下でも履行できる取り入れていれば3000万円以上節約できた可能性はあると思いますが。

（答弁）教育部長「その制度は今研究している」

高齢者運転免許自主返納サポーターへの協力をお願いしては

愛知県警は、高齢者による交通事故を抑止する取り組みとして、65歳以上で運転免許証を自主返納した方が交付を申請できる、運転経歴証明書などを提示すると、割引などの特典が受けられる、高齢者交通安全サポート制度を実施しています。

当市もWebで制度を紹介していますが、他の自治体では、タクシーの運賃1割引、自転車千円引き、飲食店等で5%引きなどの割引や特典が得られますが、当市内では、県内共通で取り組んでいる店を除くと、独自でサービスを受けられる店がない、寂しい状況です。

市内の事業者にサポーターになって頂けるよう働きかける考えはないか聞きました。

（答弁）健康福祉部長「今後、直接店舗を訪問したり、商工会を通じて働きかけをしたりして、協力をお願いしていく」

介護ロボットの導入補助を

市内に高齢者の介護や自立を支援するロボットを開発する拠点ができ、最先端の研究が行われています。

介護ロボットや装置は実際に使ってもらうことが重要で、介護の負担が重くて仕事から離れてしまう介護離職を防ぎ、医療・介護従事者の負担を減らして、勤務環境改善につながり、また改善点がわかって、さらなる開発も促進させます。

現在、愛知県が、介護保険事業所が介護ロボットを導入する場合に、価格の2分の1、1機器につき10万円までの補助金を出しています。

当市としても、ロボット産業のさらなる誘致につなげるためにも、市内の医療・介護事業者や支援が必要な方への、介護ロボット導入補助を行う考えはないか聞きました。

（答弁）健康福祉部長「今のところ考えていないが、ニーズや国の動向を見ながら研究していく」

自治体クラウド導入計画策定は

これまで予算、決算の特別委員会などで自治体クラウドの活用を提言してきました。

複数の自治体でクラウド上の情報システムを共同利用することで、割り勘効果によってコストを下げたり、複数の場所にシステムやデータが存在することで、大規模災害に強くなったりといった効果が見込めるものです。

国は昨年11月「地方公共団体におけるクラウド導入に係るロードマップ」を策定し公表しました。

それによると、クラウド化計画のない団体はクラウド化に着手し、いずれ全団体でクラウドを導入すると定めています。

当市の計画策定の状況や予定はどのようになっているのか聞きました。

（答弁）行政経営部長「共同利用型システムを検討していく。近隣市町と調整しつつ、導入計画策定に向け検討していく」

介護ロボット研究施設
があるけやきテラス

さらなる広域化や広域連携と情報システムのクラウド化は

3月6日に愛知中部水道企業団議会の定例会があり一般質問をしました。

国は、水道事業の運営基盤の強化や効率化を進めるため、広域連携を推進する方針です。当県の状況を聞きました。

そして、情報システムをクラウド化し、周辺の自治体や企業団などと共同利用することも、広域連携による効率化、コストダウンの良い手段だと思われますが、検討しているか聞きました。

（答弁）総務部長「名古屋市を除き、県内を4ブロックに分けて広域化について事務レベルでの情報交換を行っている。今のところ情報システムのクラウド化については話し合っていないが、提案していきたい」

核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書否決

人類史上初めて、核兵器を違法とする核兵器禁止条約が昨年7月7日、国連加盟国の3分の2の賛成で採択されました。

この条約は核兵器の全廃が目的で、核兵器の使用や開発、実験、生産、製造、保有、貯蔵を禁止し、さらに核抑止力の根幹とされてきた威嚇も禁止する画期的な内容です。

核兵器のない世界を求める、世界各国、広島、長崎の被爆者の悲願が実を結んだ、歴史的かつ壮大な成果と言えます。

私たち新風とよあけなどは、日本政府に対し、この条約への早期の署名、批准を求める意見書案を3月議会で提出しました。

私は会派を代表した討論で、核兵器が広島、長崎にもたらした惨劇、抑止力が必要というなら、例えば最低限の核兵器を国連による共同保有として、各国の核兵器の廃棄が完了するまで残しておくなど、知恵を出して、核保有国にも条約への署名、批准を促していくこと、日本に求められる役割ではないかという考え、豊明市議会は、昭和60年に平和都市宣言決議を採択していて、その中で、「広島、長崎の禍を再度くりかえすことのないよう生命の尊厳を深く認識し」「世界恒久平和の実現に努力することを決意し」ていることなど訴え、賛同を求めましたが、残念ながら、賛成9反対11で否決されました。

予算特別委員会より

平成30年度予算について、全体的な内容は、会派の仲間の会報等に譲りますが、特別委員会等で指摘した内容の中から、一つだけ取り上げます。

・長期継続契約は、契約金額の低減が目的の一つであるのに、前年度までの金額より、さらには前回、長期継続契約を計上した時の予算と比べても大幅にアップした予算となっている例が多々見られました。

入札によって安くなった金額をほぼ変わらない金額を今回の予算としたが、業務が増えるなど、特殊な要因がない限り、今の金額で問題ないと業務が行われているのであれば、その金額から大きく上がらない予算とすべきと考えます。

使う限られた予算を有効に使うためにも、過大な予算とならないよう気をつけるよう要望しました。

あの件その後どうなった？

★水上メガソーラー（27年6・9・12月議会等で質問）

29年3月28日～30年3月18日の速報値で、予想売電額607・8万円に対して、実績値は9・51%、額にして577・78万円

豊明市水上メガソーラー発電所

★図書館照明LED化（27年9月・28年3月議会で質問）

導入した今年1月以降3か月の平均で、電気の使用量が前年の月平均1万6127kW時から9898kW時に39%減少。電気料金は、単価が上昇している影響があるものの平均33万1726円から26万4330円に20%減。

10円多い、6655万7810円となっており、順調に稼働しています。

議会人事

今回、総務委員長に選んで頂きました。

同会派では、議長に杉浦光男議員、健康福祉委員長に宮本英彦議員、建設文教副委員長に、近藤善人議員が選ばれました。

平成29年6月～12月議会の主な活動

6月定例月議会

◆一般質問

「世界気候エネルギー首長誓約に参加する考えは」

「水上メガソーラーの発電出力などのデータ表示は」（9月議会でも質問）

→その後発電電力、今日・今月・今年の発電量など表示開始

http://www.city.toyoake.lg.jp/4558.htm

「臨財債は他の市債より有利と証明できるか」

「特色ある教育をして学区外からも通えるようにする小規模校対策をしては」

「前後駅デッキ下のレンタル自転車が利用されていない」（9月議会でも質問）

→一部を桶狭間古戦場公園周辺に持って行って貸し出し

◆南部教育支援センター営繕工事費

設置は良いが、坪単価80万円の営繕工事費は高額すぎと指摘

愛知中部水道企業団議会7月定例会

◆一般質問

「環境省の調査によると当企業団の水道施設で4カ所の有望な小水力発電導入候補地があるとのこと。検討する考えは」

候補地の一つ横道配水場(長久手市)

9月定例月議会

◆一般質問

「台風5号襲来時に防災タイムラインの試験的運用をしたか。暴風雨中の避難を避ける運用を」

「大地震時、家の人が無事か、助けが必要か一目で分かるシートの活用を」

「性犯罪歴がある人物が臨時講師となりえるか」

→その後文部科学省が、教員免許管理システムを、より情報共有しやすく改修

「SOGI（性的指向と性自認）の考え方を施策に取り入れるか」

12月定例月議会

◆一般質問

「待機児童緊急事態を宣言する考えはないか」

「防災タイムラインの中で、豪雨が予想されている場合、事前にため池などの水位を下げておくことを定めているか」

「臨時の南海トラフ地震に関連する情報が出た際の対応は」

◆文化会館天井改修工事契約変更

工事内容の説明に納得できず反対

愛知中部水道企業団議会12月定例会

◆一般質問

「震災時の給水待ち解消のため、全ての応急給水拠点に、設置型仮設給水タンクの導入を」

発行者:とみなが秀一政策研究会
〒470-1152
豊明市前後町仙人塚1752-27
Tel 0562-95-2005
ブログ
http://otomitv.seesaa.net/
※過去の会報、視察の詳細な報告書等もご覧になれます
Twitter ID otomi.tv
eメール eco@otomi.tv

議員8人で出た中京競馬場バックヤードマラソンにて